



「考える子」を育てる

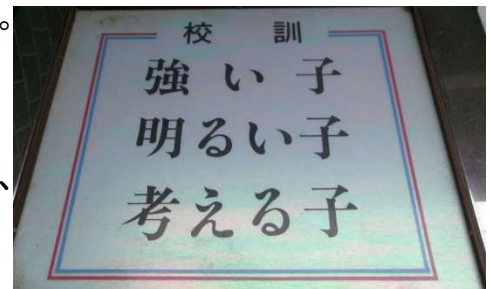
新しく校長として赴任して参りました岡本正彦です。よろしくお願いいたします。
磐田市役所で3年間、幼児教育や特別支援教育などの業務に携わっていました。幼児教育の良さを小学校にもつなげて、子どもも、親も、先生も幸せになれるような仕組みを考えていきたいと思います。地域の方々のお力を借りながら、151年目の「笠原っ子」をよりよく育てていきたいと考えています。お気軽に校長室においでいただき、笠原のことをいっぱい教えていただけたらうれしいです。

4月22日（月）から5月8日（水）までの午前中は、1年生の学習を園の先生に公開しています。お孫さん、曾孫さんがいるおじいさま、おばあさまはこの機会にぜひ学校にお越しいただき、園の先生と一緒に1年生のがんばりを応援していただけたら、1年生も張り切ると思います。駐車場は校舎北側をお使いください。

笠原小学校の校訓の中に「考える子」があります。

令和6年度は、子どもたちの思考力を高める仕掛けを、教員が熱く議論しています。

たくさんを知っているのが賢いのではなく、知っていることを役立てる力、他の人と協力して、正解のない課題のよりよい答え（納得解）を見つけ、これからの時代の賢さとして求められています。親の世代の成功した姿が必ずしもお手本とはなっていない、変化のスピードが速い現代です。これからの時代で必要とされる「考える力」を子どもたちに身に付けさせるべく、本校の教職員は知恵を絞っているところです。ご期待ください。



では、令和6年度の笠原小学校の自慢の教職員を紹介します。

